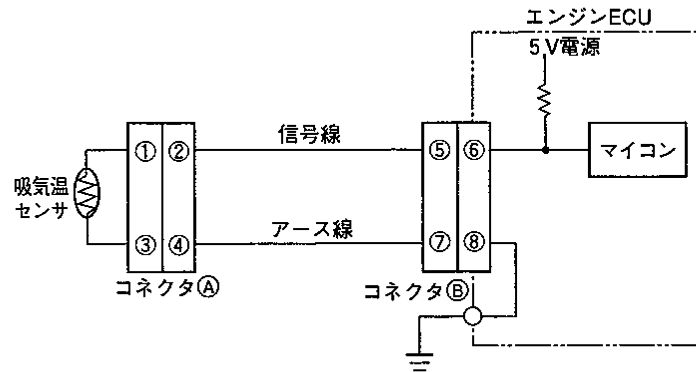


[No. 33] エンジン警告灯が点灯したので、外部診断器でダイアグノーシス・コードを確認したところ、「吸気温センサ系統」を表示したため、図をもとに外部診断器を用いて故障診断を行った。診断結果として、**不適切なものは次のうちどれか。**



- (1) 外部診断器の表示が「140℃」で、コネクタ A を外したときに吸気温度表示が「-40℃」に変化した場合は、吸気温センサの内部短絡が考えられる。
- (2) 外部診断器の表示が「140℃」で、コネクタ A を外したときに吸気温度表示値が変化せず、コネクタ B を外したときも吸気温度表示が変化しない場合は、エンジン ECU の不良が考えられる。
- (3) 外部診断器の表示が「-40℃」で、端子②と端子④を短絡させたときに吸気温度表示が「140℃」に変化した場合は、コネクタ A の接続不良を含め吸気温センサ側の断線が考えられる。
- (4) 外部診断器の表示が「-40℃」で、端子②と端子④を短絡させたときには吸気温度表示値が変化せず、端子⑤と端子⑦を短絡させたときに吸気温度表示が「140℃」に変化した場合は、エンジン ECU の不良が考えられる。

答 (4)

-40℃は断線である。(4)の問題文では、信号線またはアース線の断線が考えられる。